



城上幼稚園だより

「山と川と人とつながるたくましい子ども」

令和6年9月20日（金）発行

TEL 30-2155

すくすく

「自分でよく考え、互いに話し合い、協力しながら、とことん楽しむ」

園長 米丸 寛之

2学期の園生活が始まって3週間が経とうとしています。園児たちは、元気に2学期のスタートを切って毎日明るく園生活を送っており、現在は、10月6日（日）開催予定の大運動会に向けて、一生懸命練習に励んでいます。

2学期は1年間の中で1番長い学期で、多くの行事が予定されています。そこで、9月2日（月）の始業式では、「これからの1つ1つの活動に対して、自分でよく考え、互いに話し合っ、とことん頑張り、とことん楽しむ」ことを大切に過ごしていくように伝えました。

1学期は、園児たちの豊かな想像力、自分でよく考え、互いに話し合い、協力しながら行動していく力に触れる機会がたくさんあり、大変感動し、頼もしく思いました。福岡ソフトバンクホークスの工藤公康元監督は、1軍で活躍し続ける選手が持つ共通点の1つを「思考を成果に結びつけられている」と捉え、選手自身が思考して具体的な課題解決方法を見つけしていくよう促し、その思考をもとにした関わりを大切にされました。

園児たちが今持っている力は、これからの時代をたくましく生き抜いていくために必要な力です。それらの力を、これからチャレンジする1つ1つの取組を生かして、更に磨きをかけていけるよう職員一同取り組んでいきたいと思ひます。

保護者や地域の皆様には、夏季休業中、園児たちを温かく見守ってくださり、また、様々な場面で活躍の場を与えて楽しい時間を過ごさせてくださり、大変ありがとうございました。今後も、園児たちのよりよい成長に向けて御協力・御支援等、どうぞよろしくお願いいたします。

「親子20分間読書」運動～本がひらく わたしの未来～

8月4日の南日本新聞オセモコ欄の「14歳の君へ～わたしたちの授業～」に、「物語に触れ想像力を養おう」と題して、又吉直樹さんのインタビュー記事が掲載されていました。

又吉さんと言えばお笑い芸人ですが、読書芸人としても知られ、2015年に小説「火花」で芥川賞を受賞されました。

又吉さんは、インタビューの中で、3つの大事なことを話されていました。

3つの大事なこと

- ① 他人の気持ちを考えること
- ② 想像力を養うこと
- ③ いろんな本に触れること



です。

人にはいろんな感情があるため、人の気持ちを思いやり、物事を立体的に見られるようになることが必要であり、いろんな本を読むことによって、複雑で言葉にならない感情を理解できるようになったり、他人の心や自分と違う考えを想像することができるようになったりすることからです。

園児の皆さんの夏休みの読書や親子20分間読書の取組はいかがだったでしょうか？前回の園だよりで、先生方からのお薦めの本を紹介しました。園児が、本を通していろんな冒険をしたり、いろんなことを想像したり、ワクワクしたりした大切な1冊に出会えていたら嬉しく思います。

まだまだ暑い日が続いていますが、少しずつ、少しずつ、〇〇の秋へと近づいていきます。さあ、読書の秋へGO！！

